






**4年 授業実践**

- 1 主題名・教材名** 友達のことを考えて B 友情、信頼  
 ・「絵はがきと切手」(出典:「小学どくとく4年 -はばたこう明日へ-教育出版)
- 2 本時のねらい** 料金不足の絵はがきを友達から受け取った主人公の葛藤に共感しながら考える学習を通して、友達と信頼関係を築いていくことの大切さや助け合おうとする態度を育てる。

**3 展開**

段階	○学習活動と主な発問	・児童の反応	・指導上の留意点 ○評価
導入	○事前アンケート結果を掲示し、友達とはどんな人かを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ思いをもっている人がいるんだ。</li> <li>・友達っていいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にとって友達とは、どんな人なのかについて課題意識をもたせる。</li> </ul>
展開	<p>○条件・状況を知る。</p>  <p>○教師の判読を聞く。                  ○心に残っているところを発表する。</p> <p>○話題の整理と確認をする。</p> <p>1 絵はがきをもらった時のひろ子はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>2 兄や母の考えを聞いたひろ子は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p>	<div data-bbox="555 640 1337 969" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○登場人物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろ子さん(主人公)、正子さん、母、兄</li> </ul> <p>○条件・状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に転校してしまった正子は1年生の時から友達。</li> <li>・正子から絵はがきが届いたが定形外郵便のため切手代が57円不足していた。</li> </ul> </div> <p>・絵はがきが送られてきたところ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・料金不足のことを知らせようかどうか迷っているところ</li> <li>・正子さんは知らせようと思った。</li> <li>・母と兄の考えを確認</li> </ul> <p>・正子さんからもらって嬉しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・びっくりした。</li> <li>・あれ?料金が足りない。</li> <li>・すぐに返事を書きたい。</li> </ul> <p>&lt;兄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたら正子さんがっかりするだろうな。</li> </ul>	 <p>・絵はがきをもらったひろ子の喜びに共感させ、正子とひろ子が離れても仲良しの友だちであることをおさえる。</p> <p>・兄と母の考えはどちらが正しいのかを考えるのではなく、教える場合と教えない場合の両方の思いについて考えられるようにする。</p>

 <p>③ どうしてひろ子は、正子に伝えることに決めたのでしょうか。</p> <p>○自分の友達関係について振り返る。 今日の学習を通して、感じたことや考えたこと（友だちについて）を書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次から気をつけようと気づいてくれる。</li> <li>・正子さんのために教えたい。</li> </ul> <p>&lt;母&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教えないと同じ間違いをしてしまう。</li> <li>・困る人がでてくる。</li> <li>・嫌な気持ちを他の人にもさせる。</li> <li>・信用していたからだいじょうぶ。</li> <li>・本当のことを伝えても許してくれる。</li> <li>・仲良しだからこそやさしく伝えてあげたい。</li> </ul>	 <p>○兄と母どちらの考えが正しいのかを考えるのではなく、ひろ子が一生懸命に相手のことを考えたところにふれながら、ねらいに迫れるようにする。</p> <p>○今までの自分を振り返り、友達と互いに理解し、信頼しようとする意欲が高まったか。</p>
<p>終末</p>	<p>○「二人はともだち」の一説を紹介する。 「とても、すてきな手紙だ。」の部分から、一緒に待つことが幸せだという二人の姿を紹介し、改めて友達のよさや友達関係についての話をする。</p> 	<p>友達っていいな。 こんな風に友達のことを考えたいな。など、友達との付き合い方について、自身の思いをふくらませる時間にする。</p>

#### 4 授業の成果(○)と課題(●)

- 中心発問をひろ子の視点で考えることで、児童が客観的に考えることができた。
- 信頼に重点をおいた授業ということから「友達のことを信じる」という思いに気づき、生活に活かそうと考えている姿がみられた。
- 児童それぞれの道徳的価値を知るという意図をもち、児童の考えから心に残ったことを確認していたことで、他者理解の場をつくることができた。
- 第一の発問は条件・状況にまとめ、ひろ子の気持ちや迷いをもっと考える時間を増やしてもよかった。

#### 5 指導講評(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 浅見 哲也先生)

- ・児童が考えるポイントを最初に示し、授業を展開していく方法もある。
- ・問題意識を持たせるために、事前アンケートを取っていたがアンケートを生かす方法として、最後に主人公の気持ちを学んで思ったことを振り返ってもいい。